

武蔵野市立保育園のあり方検討有識者会議（第2回） 委員意見まとめ

項目	内容
市全体の保育の質の維持・向上のための具体的施策展開	<p>「庁内委員会報告書」についての意見</p> <p>○「4.（1）市立保育園を設置する意義」について</p> <p>「庁内委員会報告」にまとめられている5点（p.6(1)①～⑤）に、基本的に同意見です。</p> <p>公立保育園は、保育の実施責任を持つ武蔵野市が直接運営する施設であるからこそ、①～③にまとめられているように、「保育のガイドライン」で示されている「武蔵野市の保育理念」を具体化・実践し、また、地域の保育要求を把握し先進的取り組みとして施策化するうえで、市から保育の実施を委託されている市内の民間認可園のモデル的役割を担っていると考えます。</p> <p>特に②の医療的ケア児・重度の障害児・病児については、民間園でも精いっぱい努力はしていますが、現行制度の中では、運営・体制面で民間園では対応が難しいケースが多いのが現状です。公立園での受け入れにより、障害や病気の有無に関わらず保育を受ける権利が保障され、子どもと保護者の人生を力強く支えていると感じます。</p> <p>また、新しい認可園が増える中で、公立の園長先生達が責任者として役割を分担して行われている「保育のガイドライン」をはじめとした様々な分野での実践交流などが、地域の連携を強め、経験の蓄積の無い新園の保育を支える力になっており、さらなる取り組みが期待されています。</p> <p>現在の課題で言えば、新型コロナ感染拡大防止対応を踏まえた保育の指針を現場の視点から実践的に検討し判断するなどの取り組みも重要な役割となっているのではと思います。</p> <p>④⑤についても、地域に果たす重要な役割だと思っています。</p> <p>市内の保育施設が80以上にも増えた中で上記役割を果たすためには、市立保育園の配置については最低でも現状を維持する必要がある、むしろ足りないくらいではないかと思っています。</p> <p>保健所をはじめ、医療・福祉など国民のライフラインやセイフティネットに関わる分野を効率化の観点のみから見直してきた問題点がコロナ禍で浮き彫りとなっており、その転換が求められていることは、公立保育園の配置についても同様ではないかと思っています。</p> <p>「新武蔵野方式による公立保育園の設置・運営主体変更に関する基本方針」（H22）では、待機児解消や質の向上など、市の保育施策の課題解決のための財源を生み出すことや効率的活用を運営主体変更の理由としてきましたが、これからの時代、費用対効果や公私のコスト比較を公立保育園の見直しの理由にすることに非常に違和感を感じます。本題からそれてしまいましたが、そもそも制度の枠組みが一般財源化によって変わってしまったのは国の責任ですし、比較を問題にするならば、民間園の運営者としては、保育士確保に四苦八苦する中でむしろ公立に合わせて民間の運営費の支援をお願いしたいと切に思います。</p> <p>○「4.（2）協会立保育園に期待する役割」について</p> <p>「私立保育園の補完的な役割を担うべき」に意義はなく、現に、協会立園の園長先生が上記のように保育の質を支え、公立職員が各協会立園で保育の質の維持・向上に向けた役割を果たされていると思います。</p> <p>ただ、今後協会立園から全ての市職員が引き上げた場合、協会立園に公立園を補完する機能や体制がどのように担保されるのかについては明確化されておらず、今後の重要な課題だと感じています。</p>

項目	内容
役割を達成するための市立保育園の配置	第1回会議と頂いた資料から、市立保育園としてエリアごとに4園設置運営を続けた方が良いと考えます。提案としては、ソーシャルワーカーまたはコーディネーターを4園に配置しエリアのセンター的な役割を担う担当者があるとエリア保育園の質の確保だけでなく、地域連携や地域の子育て支援が充実するのではないかと考えます。（教育の方では支援学校がその役割を担っています）
市全体の保育の質の維持・向上のための具体的施策展開	巡回している中で、園が急に増えた事で、質の違いを感じます。質の向上までいかなくても、武蔵野市として、質の維持をするための施策は必要だと考えます。
養育困難家庭の支援	情報共有としては、地域との連携が大切だと考えます。また、養育困難まではいかなくても、子どもの発達、成長を理解してない（知らない）で、子育ての利便性だけに重視している親も増えてきているように感じます。巡回でも親の相談も増えてきていることから、親育ての役割も増えてきています。
医療的ケア児の受入可能な保育施設設置の可能性	一人親の場合、経済的にも仕事をしなければならないので、今後、医療的ケア児の受け入れについては、市として検討すべきだと思います。これは保育園だけの事ではなく、切れ目のない子育て支援として課をまたぐ課題だと考えます。
その他	どの資料にも地域社会、そして関係機関との連携や協力の必要性が謳っていますが、まだまだ連携できているとは思えません。課をまたいだ武蔵野市の子として、連携ができるように子ども育成課に期待しております。